



学校だより 12月臨時号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ryokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

「一人ひとりの存在の尊さ」

～12月「人権月間」に寄せて～

先日、ある小学校で低学年の授業を拝見いたしました。自分の誕生に対するご家族や周囲の方々の思いを知ることで、自分が家族や周囲の方々に大切に育ててもらってきたことに気付いていく授業でした。自分が知らなかった誕生前や誕生時のエピソードを初めて知った子どもたちは、本当に嬉しそうにしていました。そして、授業の終末には「自分が大切に思ってもらっていることを知って嬉しかった」という感想だけでなく、「自分だけではなく、みんな大切に育てられてきたから、みんな同じなんだね。」という気づきが共有されました。子どもたちの輝く表情を見て、こうやって子どもは人権意識を高めていくのだと感じました。「自分は待ち望まれてこの世に生まれてきた。」「自分の成長を喜んでくれる人がいる。」この実感を一一人ひとりがもつことこそが、人権を尊重する心を養っていくのではないのでしょうか。子どもたちは、この満ち足りた実感があって初めて「まわりにいるすべての人も、同じように大切な存在である。」ということに気付くのだと思います。「そえじまぶんこ」に「あなたが生まれた日」という絵本があります。「あなたが生まれた日に、地球上の生き物がすべて喜んだ。地球自体も喜んだ。」という言い回しで、地球の仕組みや生きものについて紹介している科学読み物です。一人の人間の誕生は家族だけにとどまらず、地球にとって素晴らしいことなのだと説くこの本の力強さは、すべての子どもたちに明日への勇気を与えます。

緑園東小学校では、今年も「人権月間」の取組を行いました。今年度も代表委員会と学校保健委員会がコラボをして「緑園子ども会議」を開催し、「相手の気持ちをきちんと聴くことで、誰もが安心して生活できる学校にしよう」と話し合いました。会議では「相手の名前を呼んであいさつをする」「目を見て、あいづちをする」「平等に笑顔で相手の目を見て聞く」等、具体的な行動を考えた意見が出されました。話し合ったことを一人ひとりが本当に実行することで、初めてお互いに安心して学校生活を送ることができます。ぜひ、一人ひとりが自分から行動する強い気持ちをもてるようになってほしいと切に願います。

本校では「人権月間」で、「レインボー（5, 6組の友達との交流や紹介）」の活動を入れて、全校児童がよりお互いを理解して仲良くできるような取組も行っています。私は、先日、5, 6組の子どもたちと一緒に合同宿泊体験学習に出かけました。どの子も自分のめあてに向かって全力で取り組む姿や、大勢の友達の前で大変わかりやすく堂々と司会等をやり遂げる姿は、全校児童のお手本となる立派なものでした。今年は、5, 6組の子どもたちが作成した「5, 6組紹介番組」を学年ごとに順次、ビデオ視聴をしているところです。この番組も大変見事な出来栄でした。実は、この番組を作成するにあたって全校児童から知りたいことのアンケートをとったところ、私たちの予想を超えて多くの質問が各学年から寄せられました。レインボーは、子どもたち同士の学び合いへと進んでいることを確信しました。

明日から待ちに待った冬休みです。例年より早いインフルエンザの流行で、今週は学校全体で欠席者も増えました。欠席したまま冬休みを迎えたお子さんも何人かいました。一日も早い回復をお祈りいたします。

冬休みはご家庭でもお子さんと過ごす時間が少し増えると思います。各ご家庭で、お子さんの誕生時に思いを馳せ、わが子の頑張りを再認識する幸せなお休み期間となりますことを願っております。

保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に多大なご理解とご協力をいただきまして本当にありがとうございます。どうぞ穏やかなよい新年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

